

# マキノ病院ニュース

第107号

— 令和元年6月1日発行 —

## 病院長就任のご挨拶

マキノ病院 院長 西村 彰一

この度、4月1日付けを持ちましてマキノ病院の院長に就任いたしました。

紙面をお借りして、自己紹介と今後の抱負を述べさせていただきます。

私は平成元年に滋賀医科大学を卒業し、外科学講座に入局しました。その後、大学病院や関連病院で外科の診療に従事してまいりました。マキノ病院にも平成9年より4年間勤務したことがあり、非常に良い思い出として心に残っております。

この度、ご縁があり再びマキノ病院に勤務できることを大変嬉しく思っております。

これまで私は、胃癌、大腸癌、胆石症、鼠径ヘルニアなど

の手術を行う消化器・一般外科の診療を中心に、救急医療などに携わってまいりました。

また、前任の病院では年間100例以上の肛門疾患手術に携わっており、滋賀県内では一番の症例数を経験しております。

今後はこれまでの経験を活かし、外科診療だけでなく、地域医療にも貢献できるように総合診療にも頑張っていく所存です。

近年、地域包括ケアシステムの構築が叫ばれております。地域包括ケアシステムとは高齢の方が、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域内でサ

ポートし合う仕組みのことで、地域包括ケアシステムの構築は当院のみでできるものではなく、近隣の医療・介護・福祉に携わる機関や行政が協力することにより成り立つものであります。

当院は高島市北部において、その中心的な役割を果たすべく努力をしております。具体的には、院内においては急性期病床以外に療養型病床、地域包括ケア病床、さらに院外の施設として訪問看護ステーション、小規模多機能居宅介護事業、デイケアセンターを整備してまいりました。

このように、医療、介護の垣根を越えて地域の住民の皆様が安心できる環境の創造を行ってまいりました。今後は今までの十分に対応ができていなかった訪問診療の拡充を図り、さら

なる安心がもたらされるよう努力していきたいと思っております。

マキノ病院はこれまで約50年に渡り、地域住民の皆様を支えられて来た病院です。当院の理念は『患者様中心の医療と福祉を実践し、患者様および御家族の信頼と満足を得ることにより地域の皆様に安心していただける環境の創造を目指します』とあります。

これまで理念に従い、その時代のニーズに応じて病院の在り方を変えてまいりました。令和の時代にも地域のニーズを満たすよう柔軟に対応し、高島市の北部の地域にあってはならない病院としてあり続けられるよう、職員一同努力してまいります。

## ドクターコーナー



CHOSHINKI

突然の腹痛や嘔吐、下痢などをもたらす急性胃腸炎。まず皆様が頭に浮かぶのは『胃腸かぜ』や『食中毒』といったものと思われれます。いわゆる感染性胃腸炎と言われるもので、季節によって流行るタイプが異なり、冬場ではウイルス性、夏場では細菌性のものが一般的であります。ウイルス性では、ノロウイル

## 夏の胃腸ダメージ

内科 寺尾 晃一

とが多いですが、発症（下痢、腹痛などの症状が出現）するまでの時間（潜伏期間）がそれぞれ菌の種類によって異なります。

たとえば鶏肉などを食べてカンピロバクター菌に感染すると数日後に発症することが多く、また黄色ブ

スやロタウイルスなどが有名です。細菌性ではサルモネラ菌、O・157などの大腸菌、カンピロバクター菌などの『感染型』や黄色ブドウ球菌などの『毒素型』があります。細菌性胃腸炎は、食品や水などを口から摂取することで感染するこ

トウ球菌の感染では数時間後に発症することが多いです。一般的に『感染型』より『毒素型』の方が早く発症することが多いと言われています。これからバーベキューなどをする

ことも多くなる季節です。夏場は

高温多湿で菌が増殖しやすい環境となり、口から摂取する機会が増え、冬場より多くの菌が入ってくる状況となります。ただ菌が入ってきたからといってみんなが発症する

わけではありません。免疫力が低下している状態では多少の菌が入って

発症することが多く、また黄色ブ

きても発症しない身体にはできています。夏バテなどで体調を崩しているたりすると免疫力も落ち、普段の元気な状態では発症しないものが、発症してしまうこともあります。これからの時期体調管理も大切になってきます。また予防も欠かせません。

『石鹸を使った手洗い、うがいやさなためたの食品管理』『料理は出来るだけ火を通し、古い食べ物や生ものは食べないようにする』『食器類などの衛生管理も忘れないようにする』など色々あり、これからの時期、いつも以上の気遣いを心がけましょう。

これまではいわゆる感染性胃腸炎について話をしてきましたが、菌だけが胃腸のダメージを起

すわけではないとされています。暑い時期は冷たい飲食物をとることが多くなり、胃腸を刺激し過度に胃腸の動きを亢進させ下痢症状を引き起こします。また夏バテも体力の消耗から消化・吸収が悪くなり下痢を起こす原因となります。クーラーなどにより寝冷えしお腹を冷やしてしまうことも原因になります。

このように夏場は胃腸にダメージを起しやすい環境にあります。皆様も以上のような体調管理に努めましょう。



## 診療科のご案内

内科・外科・小児科・整形外科・皮膚科・神経内科  
肛門科・泌尿器科・リハビリテーション科・リウマチ科・放射線科  
【救急指定・労災指定】【人間ドック・各種健診】

— 診療受付時間 —

平日 8:30 ~ 12:00 16:40 ~ 19:00 土曜日 8:30 ~ 12:00

滋賀県高島市マキノ町新保 1097 TEL 0740-27-0099

ホームページ <http://www.makino-hosp.or.jp>